

Make Progress

つねに新しいことを。
そして、いつも変わらぬ姿勢で。

1924年の創業以来、当社は時代ごとのニーズに柔軟に応じながら、新しい技術及び生産設備を取り入れ、進化を続けてまいりました。

業界を取り巻く状況や市場動向が日々めまぐるしく移り変わっていく時代の中で、常に前向きに事業を展開させていくために、社員各人が創造し、革新させて技術を進めるよう努力しております。そのために、社員がモチベーションを持続けられるよう、各人の負担を減らし、教育体制や福利厚生を充実させ、人材を大切にしていくことが不可欠です。その結果が、品質や生産性の向上に繋がっているものと確信しております。また技術革新の実現のためには、必要な時に必要な設備投資を充分に行うことも重要であると考えております。

また、社員同士はもちろん、社員と会社とのコミュニケーションを密に図り、会社の状況をオープンにしていくことによって、内部からの力がより一層高まり、組織の真の強さを築けるものと考えます。これからも、時代の風潮に流されない終身雇用の堅持、風通しの良い組織、最新鋭設備の導入など、オーナー企業だからこそそのメリットを生かし、従来の良い部分は変えることなく時代の変化や流れをしっかりと捉えた経営を目指してまいります。

私ども大木伸銅は、先代が築いてきた「歴史と技術」を継承し続け、常に伸銅品メーカーとして日本一の品質を誇れることを念頭に、社員一人ひとりが「改革日新」という企業理念を実行し、関連会社やお取引会社との「共存共栄」を図るべく、日々邁進していくことをお約束いたします。

改革日新

代表取締役社長

大木 宗治

技術力は人間力。

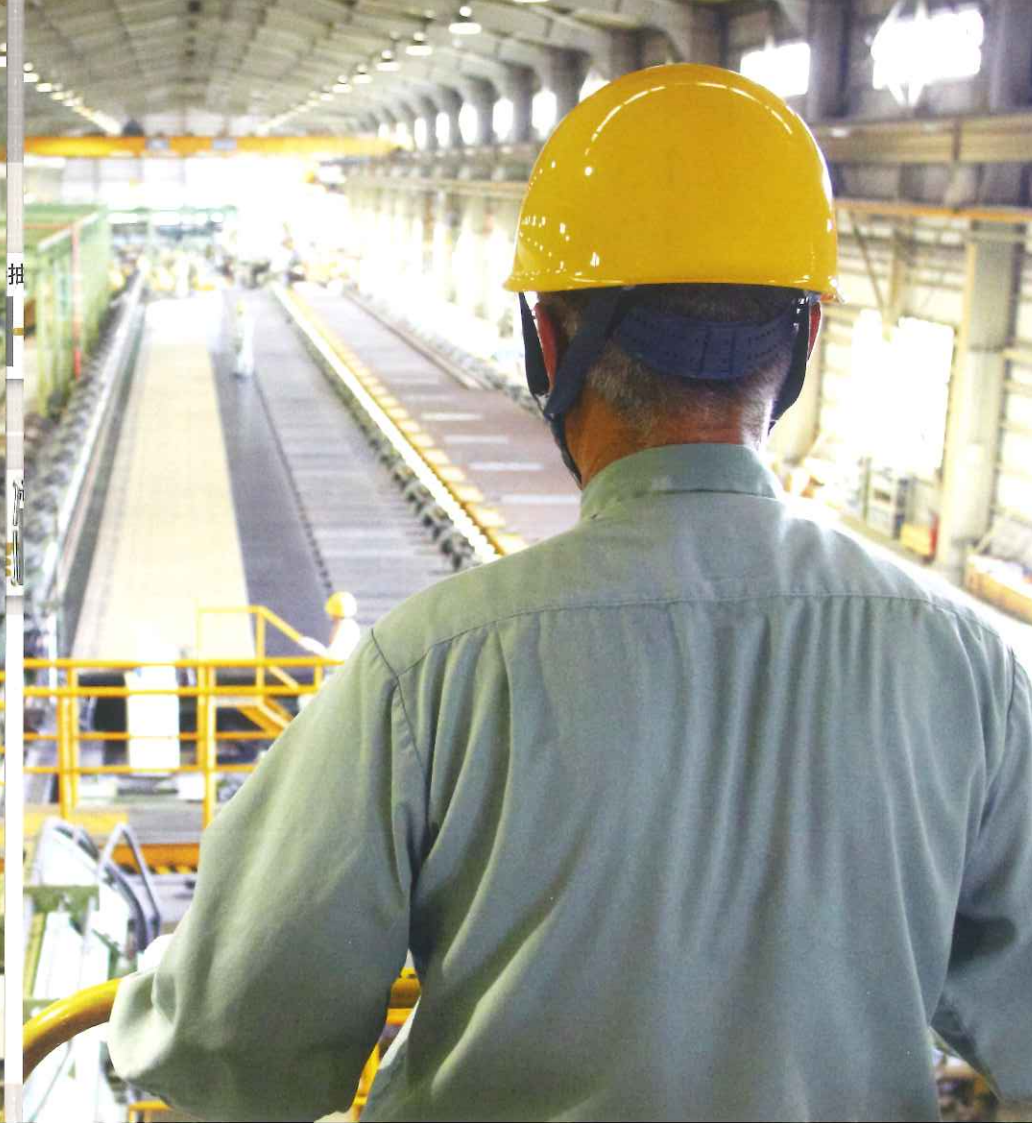
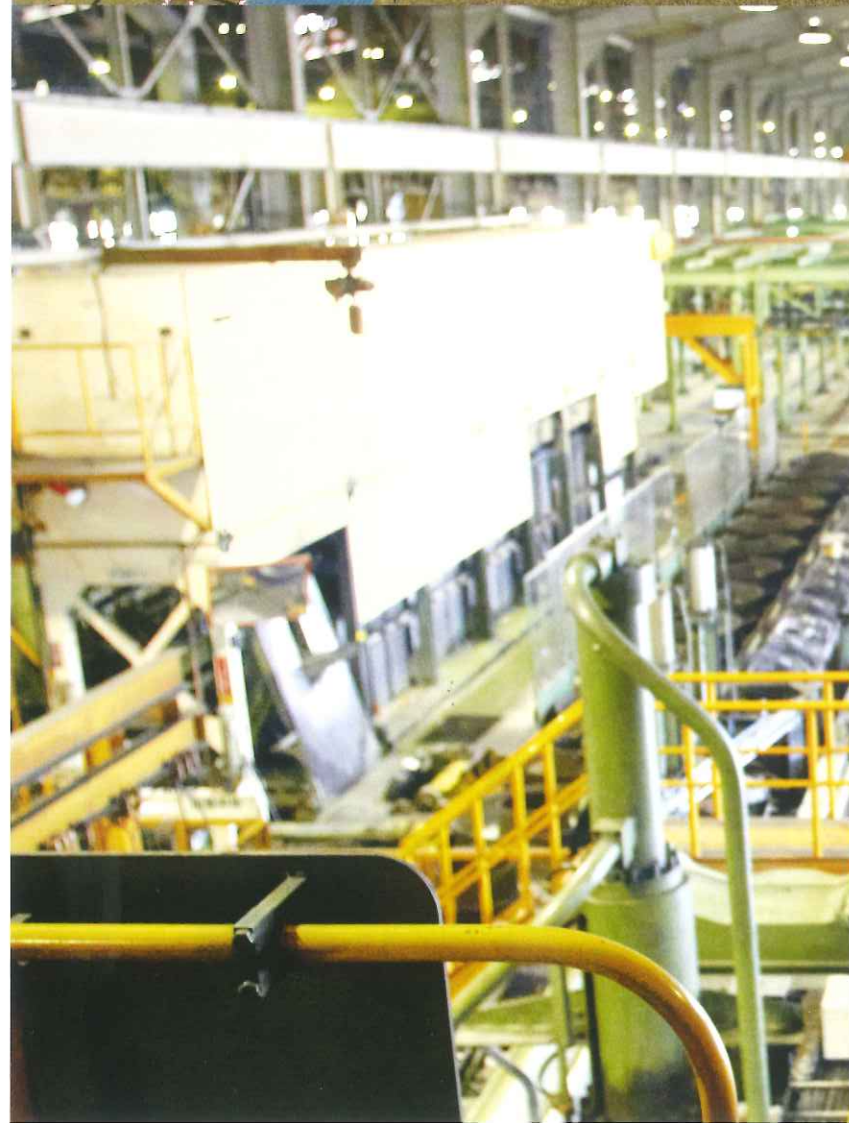
Top of The
Quality

営業
Sales

确实
迅速

生産
Producing
品質
納期

平成27年1月、大木伸銅工業株式会社は、販売子会社であった大木伸銅産業株式会社を吸収合併し、名実共に「製」「販」一体となってスタートしました。私たちはこれからも、品質と納期で存在感を示す会社であり続けます。



伸銅品メーカーとして社会の発展の一翼を担っているという誇りと責任を持ち、最高品質の製品をつくり続けることでお客様の信頼を獲得する——。これが、大木伸銅が目指す企業です。高品質の黄銅棒を生み出すのは、最新のテクノロジーはもちろん、それを動かすすべての社員のたゆまぬ向上心。次代を切り開こうとする好奇心をいつでも変わらず持ち続け、社会の発展による豊かな未来を目指して技術革新を続けるとともに、徹底した品質管理を行っています。

銅・黄銅棒

大木伸銅の主力製品である快削黄銅棒は、切削性、熱伝導性、耐食性に優れ、家電製品（携帯電話、プリンター他）、住宅機器（エアコン、水栓金具他）、さらに自動車部品など、さまざまな分野で幅広く活用されています。

その製造過程では、圧力制御式鋳造炉と電磁攪拌装置のコンビネーションという業界では世界初の試みにより、高気密鋳塊を製造することに成功しました。

さらに間接押出機との相乗効果により、内部欠陥は皆無とも言える状態となり、お客様に必ずご満足いただけるものと自負しております。

また、お客様のニーズにお応えする製品をお届けするよう細心の管理とたゆまぬ努力を続けております。

間接押出機



渦流探傷器



Flow Sheet



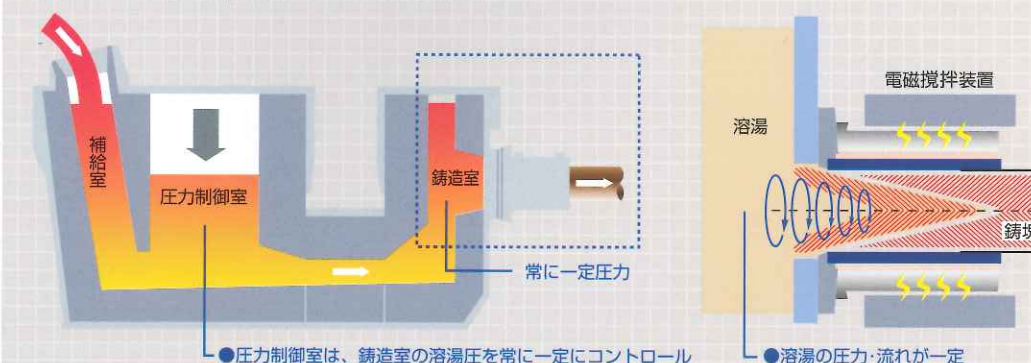
受け入れ検査

●固体発光分光分析装置
切粉、棒屑などのリサイクル原材料は、外観だけでは合否の判別は難しいことから、原材料受入に発光分光分析装置を導入。異種材の混入、成分異常を未然に防止できる体制を構築しています。



圧力制御式鋳造システム

「圧力制御式鋳造炉」「電磁攪拌装置」の二大設備の導入により、鋳塊の凝固過程をコントロール。鋳造欠陥の少ない「気密用途に適した素材」を安定供給することに成功しました。



ビレット断面図

これが大木伸銅で製造した鋳塊の断面です。うすを巻いているように見えるのが電磁攪拌の効果です。1000℃を超える金属の凝固をコントロールする……これが高気密材のカギです。



原料

溶解

購入ビレット

圧力式連続鋳造・切断

ビレット加熱

間接押出

破面検査

〈直棒〉

直棒酸洗

直棒

〈コイル〉

酸洗

伸



亜鉛



切粉



リターン材



廃電線

連続鋳造ライン



間接押出機



高品質



切断面取機

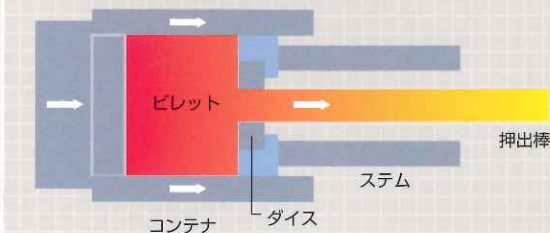


コンパインドマシン



間接押出法

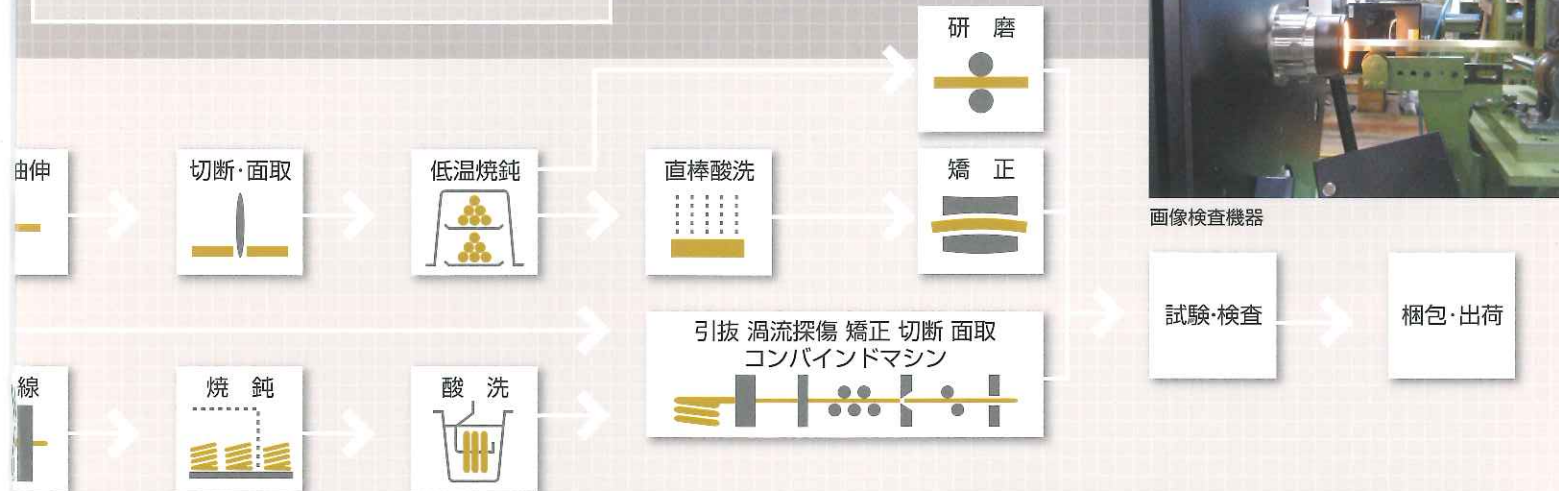
間接押出法は、コンテナと鋳塊の摩擦抵抗が非常に小さく均一なため、押出された材料は「内部欠陥がない」「強度・組織が均一」「寸法精度が高い」等の高い品質が得られます。これは製品にも反映され、最高の品質をお届けいたします。



製品検査(カドミウム確認分析)



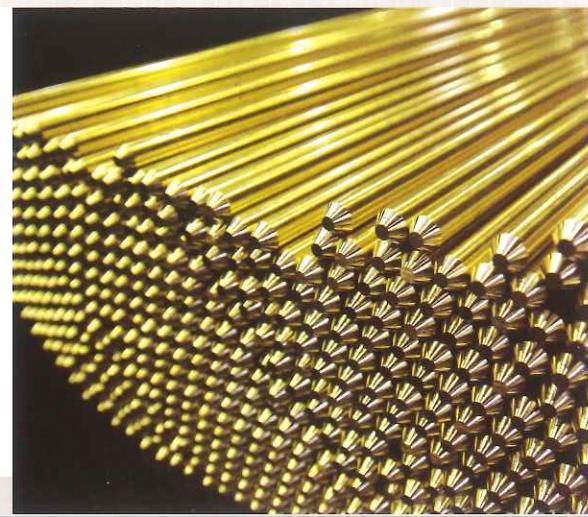
●エネルギー分散型蛍光X線分析装置(EDX)
カドミウム低減材は、出荷前にカドミウム含有量をEDXで最終チェック。万全の品質保証体制を整えております。



伸線機



低温焼鈍炉



厳格なロット管理で、ユーザーニーズにあった製品を提供

当社では、製品の化学成分、機械的性質、寸法などの正確性を維持するため、原料の受け入れから製品の出荷に至るまで、さまざまな検査・試験機器、器具を使用し、各工程のロット管理を徹底して実施しています。環境対応材もさまざまなラインアップでお客様のニーズに応えます。



ICP(高周波誘導結合プラズマ発光分光分析装置)



SEM(走査型電子顕微鏡)



硬さ試験機

さまざまな分野で使用されている素材及び加工部品例

Brass Rods and Bars 自動車関連、通信機器、電子・電気機器、文具関連など、多くの用途に対応しています。



■文具関連 / ボールペン、シャープペン 等



■コネクタ、携帯電話部品、光ファイバー、リードスクリュー、フレアナット 等



■カプラー、スロットルシャフト 等



■エアガン、注油器(グリースカップ)、新幹線部品 他

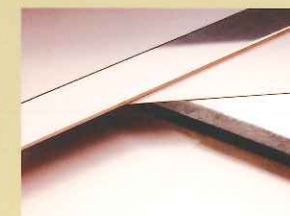


Copper Alloys

りん青銅は電子材や軸受けに、鍛造品は各種のバルブやコックに使用されています。



■りん青銅条



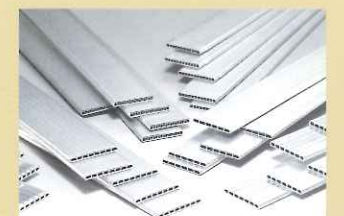
■りん青銅板



■鍛造品

Aluminum

関連会社(オーケービー社)製品



■熱交換器用アルミニウム押出小型多穴扁平管

工場と地球環境

大木伸銅は、地球環境への負荷を低減することが、企業にとっての重要な使命と認識し、資源の有効活用やリサイクルの推進を通して、地球環境保全に取り組んでいます。

ロータリーキルン



空気はきれいに してから排出しています

当社製品の主原料である切粉の油水分除去のため、ロータリーキルンを使用しています。その時に発生する排ガスは、二次燃焼室で高温処理によってダイオキシンを分解し、その後バグフィルターを通してきれいな空気に変えています。また、大型切粉ホッパーを設置し、切粉処理をまとめて実施し、二次燃焼室で使用する都市ガス使用量の低減も図っています。

水処理施設



使用した水はきれい にしてから流しています

伸銅品の製造にあたり、工場では大量の水を使用しています。水質汚濁防止のために、当社では工場敷地内に排水処理施設を設置し、不純物を取り除いてから下水に流しています。また一部処理水を還流水として再利用しています。その他、地球環境を常に意識した工場生産に取り組み、ゴミの分別や電気・ガスの使用量削減を徹底しています。さらには運送効率の良いトラック配送、消耗使用品のリサイクルの推進を行っています。

太陽光発電



工場の屋根がエネルギーを 生み出しています

2013年3月、東日本大震災に伴う電力需要を背景に、社会貢献活動の一環として電気事業を立ち上げました。新座工場の屋根上にある2417枚の太陽光パネルは、住宅120戸分に相当する年間50万kwの電気量を供給しています。社員の環境に対する意識向上にも繋がっています。

地域・社員の交流

人とつながることで人間力が磨かれるという信念から、大木伸銅では地域の住民との共生を図り、積極的なコミュニケーションを推進するとともに、社員同士の友好を深めるクラブ活動も活発です。

徳丸スクエア コンサート



コンサートも開催される 「徳丸スクエア」

東武練馬駅北側に隣接している大木伸銅工業所有地に2009年11月30日にオープンした徳丸スクエア。飲食店、コンビニ、歯科医院、保育園などが入居しているこの商業施設の中庭を利用して、地元のアマチュアミュージシャンによるミニコンサートが定期的に開催されています。演奏者も聴衆も楽しめるコンサート、地域密着型の活動に大木伸銅も貢献しています。

フットサルクラブ



“本気”を楽しみ、 コミュニケーションも充実

約20名のメンバーは学生時代にサッカー歴をもつ人も多く、就業後、週に1度は練習を行っています。2009年に、外部のチームとの交流試合も行えるグラウンドが完成。対外試合も実施しやすくなった環境で、メンバーたちの練習もより熱が入っています。チーム一丸となって戦うことで、社員間のコミュニケーション充実にも繋がっています。

野球クラブ



アットホームな雰囲気 で切磋琢磨

オーキシンドーズは、2008年夏に結成された軟式野球チームです。部員は18歳から57歳と幅広く、現在は20名で構成されています。全員が野球をこよなく愛し、その中の数名は全くの未経験者でした。チームカラーには、brass(黄銅)をイメージして黄色を帽子とユニホームに取入れています。チームの合言葉は「楽しく」です。しかし練習はいい加減でなく、勝利を目指し厳しい練習を重ねています。会社のグラウンドで昼休みにはノックやキャッチボールをし、週末には交流試合も行っています。家族も含めた試合後の反省会も楽しみの一つです。

会社概要 大木伸銅工業株式会社

商号	大木伸銅工業株式会社 OHKI BRASS & COPPER CO.,LTD.
創立	大正13年11月
代表者	代表取締役社長 大木宗治
資本金	1億円
製造品目	銅及び黄銅の棒・線・鍛造品、りん青銅の板・条
日本工業規格認証番号	新座工場 No.JQ0307079
敷地面積	本社 1,348㎡(408坪) 新座工場 104,482㎡(31,604坪)
従業員数	220名(平成27年1月1日現在)
福利厚生	保険／各種社会保険完備 制度／財形貯蓄、確定拠出年金制度 施設／社宅、独身寮、保養所 クラブ／囲碁クラブ、フットサルクラブ、野球クラブ、ゴルフクラブ
生産能力	伸銅品 4,500トン(月産) 鍛造品150トン(月産)
事業所	■本社 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3丁目17番16号 TEL.03-3933-1111 FAX.03-3935-6635 ■新座工場 〒352-0011 埼玉県新座市野火止8丁目19番1号 TEL.048-477-1155 FAX.048-481-1555 ■東京支店 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3丁目17番16号 TEL.03-3933-8620 FAX.03-3933-8621 ■高崎支店 〒370-0063 群馬県高崎市飯玉町126番地 TEL.027-361-0573 FAX.027-362-5943 ■諏訪支店 〒392-0012 長野県諏訪市大字四賀神戸3126番地 TEL.0266-53-4430 FAX.0266-58-0131 ■宇都宮支店 〒321-0905 栃木県宇都宮市 平出工業団地3丁目4番地 TEL.028-662-8601 FAX.028-662-6697 ■配送センター 〒352-0011 埼玉県新座市野火止8丁目19番1号 TEL.048-482-6405 FAX.048-482-6409
関連会社	■有限会社ダイシン デベロップメント 〒352-0011 埼玉県新座市野火止8丁目19番1号 大木伸銅工業(株)新座工場内 TEL.048-477-1155 FAX.048-481-1555 ■オーケービー株式会社 〒175-0083 東京都板橋区徳丸3丁目17番16号 TEL.03-6915-7783 FAX.03-5399-0810 ・月夜野工場 〒379-1315 群馬県利根郡みなかみ町上津650 TEL.0278-62-3121 FAX.0278-62-3125
主要取引銀行	りそな銀行(成増支店) みずほ銀行(成増支店) 商工中金(池袋支店) 武蔵野銀行(朝霞支店) 群馬銀行(池袋支店) 城北信用金庫(赤塚支店) 東京都民銀行(上板橋支店) 日本政策金融公庫(池袋支店)
主要製品販売先	(株)LIXIL、サンデン(株)、パナソニック(株)、日東工器(株)、日立金属(株)、(株)パイロットコーポレーション
主要原料購入先	三菱マテリアル(株)、東邦亜鉛(株)、伊藤忠メタルズ(株) 他

会社沿革 大木伸銅工業株式会社

- 大正13年 11月 ● 大木岩治が練馬区北町にて個人経営で黄銅棒の製造を開始。
- 昭和8年 10月 ● 合資会社 大木伸銅所設立。
同時に板橋区徳丸工場を新設、従来の黄銅棒の製造に加えて、黄銅板の製造を開始。
- 昭和17年 10月 ● 大木伸銅株式会社設立。合資会社 大木伸銅所を吸収合併し、資本金200万円となる。
- 昭和28年 10月 ● 黄銅管の製造を開始。
- 昭和29年 10月 ● 黄銅条の製造を開始。
- 昭和36年 5月 ● 資本金1億円となる。
- 昭和37年 3月 ● 埼玉県新座市に新座工場を設立。
黄銅管の製造を開始。
- 昭和37年 7月 ● 大木伸銅産業株式会社設立。
- 昭和38年 10月 ● 大木伸銅工業株式会社と名称変更。
- 昭和40年 4月 ● 新座工場にてアルミ押出型材、りん青銅板、条及び、黄銅棒の製造を開始。
- 昭和40年 7月 ● 新座工場、日本工業規格認定取得。
- 昭和45年 8月 ● 徳丸工場にて鍛造品の製造を開始。
- 昭和49年 3月 ● 金商又一(株)、米国ブレースウェイ社と合併にてオーケービー(株)を設立し、群馬県月夜野に工場を新設、アルミ押出コイル管の製造を開始。
- 平成2年 4月 ● 新座工場に、棒製造用2,900トンの間接押出機を新設。
- 平成6年 5月 ● 徳丸工場、銅・黄銅の板・条生産中止。
鍛造部門を新座工場へ移設。
- 平成8年 2月 ● 販売子会社 ダイシン非鉄(株)を設立。
- 平成8年 12月 ● 新座工場、銅・黄銅の管生産中止。
- 平成10年 6月 ● 不動産事業部を新設。
同年7月、新座物流センターオープン。
- 平成12年 2月 ● 富士精密(株)との合併にてダイシン精密(株)を設立。
- 平成12年 5月 ● 不動産事業部「板橋SATY」(現イオン板橋)オープン。
- 平成13年 7月 ● ISO9001:2000認証取得。
- 平成13年 8月 ● 圧力制御式鑄造システムを導入。
- 平成16年 10月 ● ISO14001認証取得。
- 平成18年 12月 ● 新座工場、アルミ押出型材の生産中止。
- 平成19年 3月 ● グループ内通信網であるイントラネット開通。
- 平成19年 7月 ● ダイシン非鉄(株)を大木伸銅産業(株)に合併、資本金2,000万円。大木伸銅産業(株)東京支店開設、高崎、諏訪、宇都宮各営業所を支店に昇格。
- 平成19年 11月 ● 大木伸銅産業(株)と合わせて、ISO9001の拡大認証取得。
- 平成20年 1月 ● 日本工業規格新JISマーク認証取得。
- 平成20年 11月 ● 大木伸銅産業(株)と合わせてISO14001の拡大認証取得。
- 平成21年 1月 ● 確定拠出年金(401k)制度の導入。
- 平成21年 11月 ● 不動産事業部「徳丸スクエア」オープン。
- 平成22年 4月 ● ダイシン精密(株)を吸収し、製造部鍛造課として組織変更。
- 平成23年 12月 ● 持株会社(大木ホールディングス株式会社)設立。
- 平成25年 3月 ● 新座工場にて太陽光発電事業始動。
- 平成26年 10月 ● 創業90周年記念行事開催。
- 平成27年 1月 ● 大木伸銅産業(株)を吸収合併。
- 平成27年 4月 ● 東京支店を板橋区徳丸に移転。新座工場内に配送センターを設置。